

九州・山口の金型・熱処理産業界



すずき ひろし
鈴木裕氏

型技術協会会長
福岡県金型研究会会長



こうや まさひで
神谷昌秀氏

日本熱処理技術協会九州支部長
福岡県工業技術センター所長

リーマン・ショックに端を発した世界同時不況、歴史的な円高、中国や韓国をはじめとした新興国の台頭。日本のモノづくり産業を取り巻く環境は厳しさを増した。一方で自動車や電機、精密機械といった各分野で日本企業が持つ技術力やブランド力は衰えていない。そして、これらモノづくりを支える金型や熱処理などの基盤技術は依然日本が世界をリードしている。ボーダーレス時代を迎え、これら基盤技術は今後ますます重要になる。九州・山口に立地する中堅・中小企業にはその対応が求められる。そこで鈴木裕型技術協会会長、福岡県金型研究会会長(前九州工業大学情報工学科教授)と、神谷昌秀日本熱処理技術協会九州支部長(福岡県工業技術センター所長)のおふたりに九州・山口の業界動向と今後の課題を聞いた。

「九州・山口の現状はどう見えますか。」
「全国で見ると家電業界が低迷し、それを受ける中小企業が集積している関西地区の金型業界も厳しい状況が続いている。一方の九州・山口はトヨタ自動車九州(福岡

「長引く景気の低迷で金型業界は疲弊しています。リーマン・ショック前の2007年に1万2000社あった日本の金型メーカーだが、08年度には1万社を割り込み、現在は7400社にまで落ち込んでしまった。安価で良質であれば世界中どこから調達しても構わないという風潮が製造業全体に広まり、中国や韓国に仕事が流れていった。過去数年は厳しめがかならない状態が続いたが、最近になってようやく円安効果が見えてきた。社数が減ったといっても金型の生産数が大きく落ち込んだわけではなく、型を製作できるメーカーは不足し始めている。発注と受注の立場が逆転する可能性がこれから起きてくるかもしれない。」

「中国、韓国企業との技術力向上に危機感を抱く企業経営者も増えています。」
「一面は国の政策がダイナミックだ。金型団地を造成して企業を集積さ

「国内のモノづくり基盤技術分野では、産業界で必要な専門知識や技能を持った若手技術者が少なく、技術者が成熟し、大学などで研究が少なくなるにつれて学科や指導者も減り、十分な教育が行えない状況になってきた。しかし製造現場では必要不可欠な技術であることが、企業では何らかの人員育成を行わざるを得ない。当協会では2003年度から地域の産学官連携による

「基礎教育セミナー」を開催し、企業技術者が材料の製造法や熱処理法、組織、機械的特性の評価法など広範囲にわたる基礎的な熱処理技術の習得を促している。これまでも、九州で有効な熱処理技術教育講座となった。2014年度の九州支部の取り組みが、今後の課題を教える活動に取り組んでいく。」

「九州支部としての主な活動はどのようなものですか。」
「熱処理技術では日本は世界有数の技術を持つ。だが近年は低コスト化のために海外材の導入が拡大してユーザーが要求する品質やコスト、納期など満足した高品質な製品を生産して行くために、これまで以上に高度な熱処理・品質管理技術が求められるようになってきた。これには高度な専門

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

連携して得意技術を磨け

「中国、韓国企業との技術力向上に危機感を抱く企業経営者も増えています。」
「一面は国の政策がダイナミックだ。金型団地を造成して企業を集積さ

「国内のモノづくり基盤技術分野では、産業界で必要な専門知識や技能を持った若手技術者が少なく、技術者が成熟し、大学などで研究が少なくなるにつれて学科や指導者も減り、十分な教育が行えない状況になってきた。しかし製造現場では必要不可欠な技術であることが、企業では何らかの人員育成を行わざるを得ない。当協会では2003年度から地域の産学官連携による

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

技術習得と人材育成が大事

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願

「今後の発展のために、当協会では2003年度から地域の産学官連携による」
「九州支部副支部長」にお願



株式会社 大阪精密

私たちは、「金型ドクター」です。

海外生まれの金型、生まれ故郷がなくなった金型などのメンテナンスでお困りではありませんか？

当社は海外製の金型、および他社製の金型のメンテナンス業務を積極的に展開しております。

① 定期メンテナンス(分解掃除) ③ PL/UV修理など(土、日、祝、対応可能)
② 金型破損修理(土、日、祝、対応可能) ④ 設計変更・成形効率改善のための変更など

株式会社 大阪精密 本社工場 〒591-0036 大阪府八尾市田中4丁目2番3号 TEL(072)920-2951 FAX(072)920-2955
行機工場 〒824-0022 福岡県行機市大字稲垣13-1 TEL(0930)28-8012 FAX(0930)28-8013
担当 北野 E-mail doctor.k@osaka-seimitsu.co.jp URL http://www.osaka-seimitsu.co.jp/

We Navigate the Future at the Top.

— 未来は我々がリードする。 —

事業内容

- 半導体用等封止金型及び関連金型設計製作
- 超精密プラスチック金型設計製作
- 省力化機器装置開発・製作
- エンジンアライメントプラスチック射出成形品

※その他、上記に付帯する一切の設計製作

株式会社 エヌ・エフ・ティ

本社・福岡工場 〒818-0131福岡県太宰府市水城1丁目11-11 TEL092(921)1525/0 FAX092(921)1441
熊本工場 〒861-0814熊本県上尾市南町肥後764-1 TEL0968(53)0121/0 FAX0968(53)3212

最新の設備と精鋭のスタッフでニーズに応えます。

電子部品金型の超精密加工

●平面研削盤 11台
●金型平面研削盤 7台
●NC平面研削盤 5台
●ワイヤー加工機 3台
●放電加工機 2台
●サンディングセンター 1台
●フライス盤 1台
●超精密加工機 1台
●ジグライナー 1台

■事業内容/プレス金型・プレス部品の製造
※その他、お客様の要望にお応えします。
ご一顧下さい。

(株)アヤマサキテクノス

〒822-0007 福岡県直方市大字下境299
TEL(0949)25-0189 FAX(0949)25-0190
E-mail:yama-technos@miracle.ocn.ne.jp
http://www.yamasaki-technos.co.jp/

すべてに、高・品・質

KUMAKEN

■営業品目
精密金型設計製作 セラミックス製品
精密金型部品 耐摩部品、精密治具

ISO 9001:2000取得
ISO 14001:2004取得

株式会社 熊本精研工業

本社工場 福岡県糸島市大字末永485-1(〒819-1572) TEL(092)322-7531
E-mail:kumaken@kumaken.com FAX(092)322-7492
ホームページ http://www.kumaken.com

多様化する新しいニーズに迅速に答える新しい分野に進出 九州の皆様、もう材料でお待たせしません!!

営業品目

- プレス金型・成型金型
- PCD(焼結ダイヤモンド)
- 超硬・セラミックス・樹脂加工
- エレクトロニクス・半導体・液晶関連精密部品
- 自動車・医療機器・宇宙・航空機器部品
- 装置設計・組立
- 各種ボンディング・ピックアップツール
- 量産型ディスペンサー・その他特殊ノズル
- ナノ加工技術・レンズ金型部品
- 各種コーティング・レーザー・肉皮技術
- 検査・測定・分析(3D画像・SEM)請負

ナカヤマ精密株式会社

本社 大阪府大阪市淀川区西宮原2-7-38新大阪西浦ビル801号
TEL.06-4807-1500 FAX.06-4807-1515
横浜営業所 TEL.045-548-6952 FAX.045-548-6953
熊本工場 TEL.096-279-3737(代) FAX.096-279-2055(代)
テックセンター TEL.096-340-5010(代) FAX.096-340-5020

公式ホームページ: http://www.nakayama-pre.co.jp
精密金型部品工場: http://www.seimitsu-kanagata.com

★金型用鋼材販売★

マイクログリットスキャナ 3Dリアルサーフェスビュー 高精度CNC小径工具研削盤

ナマシニングセンター AZ250 ナマシニングセンター Android ナマシニングセンター UVM-450C

材料から金型・精密加工品まで
お客様の「情熱」を形にします

1. 短納期 ⇒ 豊富な自社在庫鋼材にて対応
2. 高精度製品 ⇒ 3次元測定機による精度保障
3. 多種多様な加工 ⇒ 自社開発した機械での精密加工
4. コスト削減 ⇒ 一貫生産体制により無駄を排除

(営業品目)
2次加工(平面研削、ガンドリル加工、タップ穴加工、ワイヤー放電加工・その他各種加工)
プラスチック金型設計製作・ダイキャスト金型設計製作・鍛造金型製作・精密金型部品の製作

シバタ精機株式会社 ~真心込めものづくり~

〒838-1506 朝倉市杷木林田807番地1 TEL 0946-63-3395 FAX 0946-62-0821
E-mail: sbt-seiki@nifty.com URL: http://homepage3.nifty.com/shibata-seiki/

t0.1~t6.0まで成形精度0.03以下を狙うプレス加工

UL 400 ton

ハイブリッド金型 検索

聖徳ゼロテック株式会社

■特色

- 大阪・高砂各工場で発展した流れを受け継ぎ、独自の研鑽を重ねた技術で、九州、山口地域の顧客ニーズに対応
- スポット品から量産品まで妥当な納期を確保
- グラム単位からトン単位まで豊富な実績
- 大形素材は最大50トンまで可能
- 棒鋼(長尺)は後処理場正まで一貫受注
- 高速回転部品(φ1m×長さ4m)は専用設備で最高品質の処理

■熱処理加工内容

- 焼入れ焼戻し
- 無酸化焼入れ焼戻し
- 固溶化熱処理
- ガス炭炭焼入れ焼戻し
- 焼ならし・焼なまし
- ガス窒化

〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺936番地3
TEL 093-451-1821 FAX 093-451-3675
http://www.tonez.co.jp

進化し続ける真空炉と真空熱処理技術

金型の寿命向上を図るには、焼入れ冷却スピードが重要なポイントとなっております。自社開発した真空炉は、これまでの焼入れ冷却の常識を根底から覆す設計で数多くの特許を取得しております。

事業内容

- 真空焼入(ガス冷・油冷)
- EH-process(エンジンハード処理)
- 真空ろう付け
- 真空固溶化熱処理
- 焼入れ焼戻し
- CVD・PVD処理
- その他表面処理

EDISON リビエラ光熱(株)グループ エジソン熱処理(株)福岡工場

〒820-0701 福岡県飯塚市長尾233 TEL:0948-72-4121
E-mail: info@edison-ht.co.jp

ISO9001:14001認証取得

Tonez TOYO METAL TREATING CORPORATION

幅広い種類の
素材熱処理が可能な専門工場

■特色

- 大阪・高砂各工場で発展した流れを受け継ぎ、独自の研鑽を重ねた技術で、九州、山口地域の顧客ニーズに対応
- スポット品から量産品まで妥当な納期を確保
- グラム単位からトン単位まで豊富な実績
- 大形素材は最大50トンまで可能
- 棒鋼(長尺)は後処理場正まで一貫受注
- 高速回転部品(φ1m×長さ4m)は専用設備で最高品質の処理

■熱処理加工内容

- 焼入れ焼戻し
- 無酸化焼入れ焼戻し
- 固溶化熱処理
- ガス炭炭焼入れ焼戻し
- 焼ならし・焼なまし
- ガス窒化

〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺936番地3
TEL 093-451-1821 FAX 093-451-3675
http://www.tonez.co.jp

株式会社 東洋金属熱処理工業所 九州工場

代表取締役社長 川崎 龍四郎 代表取締役社長 大山 照雄

〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺936番地3
TEL 093-451-1821 FAX 093-451-3675
http://www.tonez.co.jp